



こんにちは！株式会社のぐちです！6月です。最近、中学時代の仲よし6人組で「元気なうちに集まる会」をしています。今回は「浅草」。浅草寺にお参りして、「お化け屋敷」でビビり、もんじゃ焼きで乾杯！必ず誰かしら迷子になる大変な仲間ですが、浅草からお台場までシーバスに乗りました。船内で隣の席に外国の旅行者が…そこで、躊躇しないのがわが友。片言の英語で話しかけると、その外国人は携帯を差出し、翻訳アプリで会話を始めました。イギリスからの旅行者で、明日は京都に行くことや、仕事はTeacher。こちらは中学時代の悪ガキ。お土産の人形焼きをお裾分け。ワイワイと楽しいひと時の国際交流でした。進化の時代すごいな～
株式会社 **のぐち**



6月の歳時記

「パプリカ」

野菜売り場で赤、黄色、オレンジと目を引くカラフルなパプリカ。パプリカの本当の生まれは中南米。コロンブスによってヨーロッパに持ち込まれ、ハンガリーで広く栽培されて、世界的に有名になりました。日本に輸入されたのは1960年代。当時は観賞用として使われていました。1990年代になって、スーパーマーケットでよく見かけられるようになりました。当初は「赤ピーマン」や「黄ピーマン」と呼ばれ、高価な輸入野菜として扱われていました。それまでは緑色のピーマンが主流でしたが、その苦みから「子どもの苦手な野菜」の代表格でした。しかしピーマンとの違いは明らかで、パプリカは肉厚でみずみずしく、何より甘みが格別だったのです。生のままサラダにしても美味しく食べられたことに、多くの人が驚きと喜びを感じたようです。また健康志向の高まりとともに、地中海料理やイタリアン料理が日本でも人気となり、パプリカが欠かせない存在となりました。パプリカはビタミンCやカルテノイドが多く、美肌や老化防止に効果的です。パプリカを乾燥させ細かく粉末にした「パプリカパウダー」はパプリカの魅力をさらに引き出すアイテムとして、欠かせない存在です。卵料理や、肉料理にひと振りするだけで、いつもの料理がワンランクアップ！ぜひお試しください。

「では皆さま、今月も元気で笑顔で伺いますので、笑顔でむかえて下さいね。」

これいいじゃん

便利グッズ研究会からのお知らせ

私たち「便利グッズ研究会」では独断と偏見で選び抜いた便利グッズを皆様にご紹介することを生きがいとしております。ハイ！今回ご紹介するのは、「ふとん乾燥機 カラリエ KFK-105-W」ふとんを一気にあたため、ふんわり仕上げるふとん乾燥機！アイリスオーヤマこだわりの立体ノズルで、布団のすみずみまで風を届けます。フラップの開く向きを逆方向にリニューアル。ふとんの中により広い空間をつくるので、あたため時間を15分に短縮！しました。4つの自動モードでオールシーズン大活躍。あたためモードで、就寝前のふとんをあたため。冬モードで、冷えた布団をポカポカ乾燥。夏モードでカラッとさわやかな風で熱気を逃がす。さらにダニモードで、外干しができない時期もふとんを清潔に保ちます。3段階の温度調整、8段階の運転時間設定が手動モードで可能です。さらに濡れた靴も一気に乾燥できます。コンパクトサイズですき間に収納！楽々セッティングで「これいいじゃん」ってわけ。ぜひ皆さまも試してみてくださいね。



小売希望価格 16,800円（税別）

スタッフ登場
GWが明けたばかりだということにこの暑さ…
今年スーパージェルニエーションになる確率もほぼ確定だそうですね。本来エルニーニョ発生年は日本では冷夏になるようですが、スーパージェルニエーションと、上がりすぎた海水温の影響で猛暑以上になってしまいうそです。そうなるスーパージェルニエーションの発生やら干ばつと、想像以上の異常気象を招く要因にもなるようです。
とはいえ世界的な気象を修正させることは現在の科学では現実的に不可能でしょうから、まずは何とか今夏を乗り切るために『何をすべきか』ではないかと思えます。
情報社会の今日では、様々なツールを活用して回避策や無理は対策など、個人個人に合った方法を見つけることが出来ると思えます。ただ無理は禁物、休む時は休む。それと水分だけでなく必要な栄養補給をしっかり取り、お互い暑さを乗り切っていきましょう！
普通でない時にこそ、体からの見えない声に耳を傾け、当たり前前の事を、当たり前前のようにする。これが一番大切なのかも知れませんね。どこかで聞いたような言葉かもしれませんが…(爆)
SE鈴木でした

なにかな
なにかな



6月は塗り絵にチャレンジ!



きれいに
ぬってね!!

